

## 米国大統領就任式と「即位の礼」とは違うのですか？

A5

バラク・オバマ米大統領は、就任式でリンカーン大統領が用いた聖書に手を置き、宣誓を行いました。この行為は日本国憲法に照らし合わせれば、政教分離原則違反だと考えられます。

しかし、就任式に用いる聖書は、指定されてはいませんが、イスラム教のコーランを用いてはならないということでもありません。また、米国大統領就任式と天皇の「即位の礼」には、大きな違いがあります。

米国大統領は、万世一系といわれる天皇のような世襲制によって継承されるのではなく、国民の選挙によって選ばれます。

また、米国大統領は、前大統領の職務を継ぐ一人の間であり、あくまでも政治的権力者です。

一方、天皇になる一連の即位儀式によって行われることは、「天皇は神聖にして犯すべからず」(大日本帝国憲法第三条)といわれたように、天皇の神格化です。天皇は、皇室神道においては最高祭司ですし、神社神道にとっては現人神です。

戦後、憲法上の天皇は、「日本の象徴」とされましたが、天皇が宗教的権威を持っていること、また一連の即位の儀式が神道儀式であることは明らかであり、米国の大統領就任式とは決定的に違います。

## C. 大嘗祭

## 「大嘗祭」とはどのような儀式で、どのような問題があるのですか？

A6

「大嘗祭」は、新しく即位する天皇を神とするための最も重要な神道儀式です。「大嘗祭」では、新しい天皇が、神々に供えるための稻を作る「悠紀斉田」・「主基斉田」から穫れた新穀の飯や、酒などを天皇の祖先の神々に供え(神饌の儀)、それを共に食べる(共食の儀)という儀式(神人共食儀礼)が行われます。

また、この儀式が行われる「大嘗宮」には、神座があり、そこには布団や枕などが置かれています。新しい天皇がその布団にくるまり、神々と共に寝る儀式も行われます(御衾の儀)。

このような一連の儀式を通して、新しく即位する天皇が先祖の神々と一体となり、「現人神」となるとされています。

ですから、この儀式は、天皇の代替わりの数ある行事の中でも、新しい天皇を神格化するために最も必要で重要な儀式なのです。

こうして天皇を神格化することは戦前に戻ることであり、日本国憲法に照らしても大変大きな問題です。

何よりも出エジプト記にある十戒の第一戒「あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない」(二〇章二節)に反しているのです。私たちキリスト者にとって決して見過ごしてはならない問題なのです。